

自分の順位を指立てる（左から）少年男子67kg級の尾沢仁、同53kg級の平井海斗、同56kg級の松浦涼馬



練習通り無心に

少年男子67kg級の松浦がスナッチで自己新となる60kgを挙げた位。トータル270kgで3位に入賞した。

「いずればスナッチで270kgを挙げられるところになりたい」と、まだまだ高みを目指すつもりだ。

普段の練習なら足に負担をかけるが、部にも入部を希望される好右衛門だった。だが肩を痛めて、（2）が（3）に落ちることも練習でできない。切り替えてウエイト部で頑張ろうかなと部で頑張ろうかなと心機一転、新入生歓迎会の部活動紹介で先輩が強い印象を受けているのを聞いて、自分も全国で活躍したいと決意する。そしてこの時、聞いた話がファンターハイで表彰を受けたことだった。

小学1年から中学校3年までの9年間、松浦は野球少年だった。川口戸塚西中ではエースとして大会出場、川口高野球部にも入部を希望される好右衛門だった。だが肩を痛めて、（2）が（3）に落ちることも練習でできない。切り替えてウエイト部で頑張ろうかなと部で頑張ろうかなと心機一転、新入生歓迎会の部活動紹介で先輩が強い印象を受けているのを聞いて、自分も全国で活躍したいと決意する。そしてこの時、聞いた話がファンターハイで表彰を受けたことだった。

番良かった。その感覚がまた湧いてくる」と納得の試技での優勝は、同時に部の歴史に刻み込まれた。

実直に磨いた技

「練習、毎日のスナッチで80kgで頑張る、前日記録タイの競り成功した。でも競りを断つ東（京・東海学園）が失敗して1位」（今までの試合の中で）

「記録が上がるまで時間はかかるけど、毎日の積み重ねが一瞬の結果につながるってのが嬉しいですね。一重挙げの魅力と、自身の歩みを磨かし合わせる生活に励んでいます」と迎える団体へ「スナッチとジャーク、どちらも3位以内に入りたい」と競うに意欲している。と端正な顔を引継いだ。

気合の入った表情で練習に励む川口の松浦涼馬。川口高校ウエイトリフティング部

小学1年から中学校3年までの9年間、松浦は野球少年だった。川口戸塚西中ではエースとして大会出場、川口高野球部にも入部を希望される好右衛門だった。だが肩を痛めて、（2）が（3）に落ちることも練習でできない。切り替えてウエイト部で頑張ろうかなと部で頑張ろうかなと心機一転、新入生歓迎会の部活動紹介で先輩が強い印象を受けているのを聞いて、自分も全国で活躍したいと決意する。そしてこの時、聞いた話がファンターハイで表彰を受けたことだった。

「記録が上がるまで時間はかかるけど、毎日の積み重ねが一瞬の結果につながるってのが嬉しいですね。一重挙げの魅力と、自身の歩みを磨かし合わせる生活に励んでいます」と迎える団体へ「スナッチとジャーク、どちらも3位以内に入りたい」と競うに意欲している。と端正な顔を引継いだ。



56kg級 松浦涼馬（川口3年）